

エンジン全14拠点で非常用発電機を増強

非常用ガス発電機増強

エンジン 大規模停電に備え

LPガス販売のエンジン（浜松市）は2019年9月末までに、非常用LPガス発電機を増強して、大規模停電時でも全14拠点で通常の業務ができる体制を整える。災害に備える事業継続計画

（BCP）を強化するほか、各拠点で取引先企業に発電機をPRして販売拡大を目指す。現在、支店や営業所など全拠点で計26台ある発電機を、約2000万円を投じて35台に増やす。

浜松市では10月、台風24号による大規模停電が発生。エンジン本社は災害時用発電機を稼働させて、社屋やガススタンドの電力を賄い、ほぼ通常の業務ができたという。停電以降、「温度管理

が必要な高価な薬品を持つ医療機関、いち早く設備を稼働させる必要がある取引先企業に見てもらおうと、ガス発電機の販売増につなげる

「（特販部の池谷英久氏）という。ガス発電機はディーゼル式に比べて静音性に優れ、黒煙が出ない利点がある。営業拠点で顧客に見てもらい、発電機の販売増にもつなげる。



2019年9月末までに、当社全14拠点に非常用発電機を設置して、災害時の事業継続計画（BCP）の強化をすすめるとともに、取引企業様への案内をすすめていきます。

エンジン本社特需課 053-471-1194

平成30年(2018年)12月27日(木)

日経新聞掲載